

第九十回
帝國議會
貴族院

恩給法の一部を改正する法律案特別委員會議事速記録第五號

(一四七)

付託議案

○法人に對する政府の財政援助の制限に關する法律案

昭和二十一年九月十三日(金曜日)午後一時三十分開會

○委員長(男爵周布兼道君) 開會致シマス、今日ハ大蔵大臣ガ御出席デゴザイマスカラ、大臣ニ對スル御質問ヲ是ヨリ願ヒタイと思ヒマス

○伯爵眞平昌恭君 私只今非公式ニ御話シテ居ツタ問題ハ後ニ週シテ、經濟的ノ方面ヲ主ニ大蔵大臣ニ承ツテ見タイと思ヒマス、暫ク御聽キテ願ヒタイと思ヒマス、經濟方面ノ問題ニ付キマシテハ、各方面デ非常ニ心配シテ居リマス、殊ニ最近ニナリマシテ日銀券ガ六百億ヲ突破シ、九日ニハ六百一億七千億圓トナリ、尙是ガドウ云フ風ニナルカト云フコトハ皆心配シテ居リマス、今後一箇月ノ間ニ七十億ノ増勢ガ豫想サレ、非常ニ心配シテ居リマス

テ、其ノ問題ガ延イテハ有ラヌル方面ニ非常ナ禍ヲ成スノデヤナイカト思ヒマス、ソレニ付キマシテ新聞デ拜見致シマス、十二日ノ新聞ニ、大蔵大臣ノ言葉トシテ、通貨ハ大部分退蔵シ、「インフレ」防止自信アリト云フヤウナ言葉ガ載ツテ居リマスルケレドモ、此ノ點ガドウモ我々トシテハ甚ダ心配ダと思ヒマス、先ヅ退蔵ノ問題カラ致シマシテモ、果シテ是ガ本當ニ農漁村、兩方面ノ退蔵ノ儘デ、是ガジツトシテ居レバ宜シウゴザイマスケレドモ、ドウモサウ云フコトバカリモ考ヘラレマセヌ、ソレカラ先ヅ他ノ方面カ

ラ考ヘマシテモ、本會議デ屢々承リマシタヤウナ御説明ノ通りノ、聯合國關係ノ方ノ人々ガ持ツテ居ル所ノ新圓ト云フモノモ相當ナモノデアツテ、是ハ改メテ申ス迄モゴザイマセヌガ、先ヅ農漁村方面ノ退蔵ニ付キマシテハ、ドウ云フ風ニナルト云フコトニ付テハ、大臣ノ御説明ヲ拜聽致シマシテモ、ドウモ、是ハ果シテ此ノ儘デ御説明通りニ、政府トシテハ今後、金融機關ニ退蔵通貨ガ預金化サレルヤウニ國民心理ガ醸成サレルコトヲ希望スルト云フコトヲ仰セラレテ居リマスケレドモ、實ハソレニ付キマシテモ、農漁村方面ニ於テモ、果シテソレガ銀行アタリニ貯蔵サレテ居ルナラバ宜シウゴザイマスケレドモ、ドウモ手ニ持ツテ居ル、「ボケツト」ニ入レテ居ル、何處カ極ノ中ニ入レテ居ルト云フヤウナ形ニナツテ居ツタ、現在ノ狀態カラ致シマスト、貯蔵ノ方面ガ、ドウモ疑ハシイノデヤナイカ、本會議デモ御説明ガアリマシタ通り、日本銀行ノ方ヘノ貯蔵ガ多イ、斯ウ云フヤウナ工合ニ承リマシタガ、第一、日銀ノ方ニドノ位ノ程度、一體退蔵ト云フモノガ出來テ居ルノデセウカ、先ヅ其ノ方面ガ我々トシテハ非常ニ心配ナンデスガ、是ハ一ツノニ物事ヲ聽イテハイケマセヌカモ知レマセヌケレドモ、其ノ點ヲ先ヅ第一ニ伺ツテ、ソレカラボツ／＼ト拜聽致シタイノデスガ、如何デゴザイマセウカ、モツト續イテ申シマセウカ

○委員長(男爵周布兼道君) 執レデモ宜シウゴザイマス

○伯爵眞平昌恭君 一々伺ツテモ宜シウゴザイマス

○委員長(男爵周布兼道君) 成ルベク簡明ニ

○伯爵眞平昌恭君 ソレデヤ一々伺ツテ、日銀ノ方デ、實際ノ本當ノ數字カラ云ツテ、ドウ云フ風ニ、一週間一遍宛ノ大蔵省ニ對スル報告モゴザイマセウカ、必ズ私共ハ是ハ世間ニ出シタリハ致シマセヌケレドモ、如何デセウカ、ソレニ對シマシテ實際ノ預金ト云フモノハ増加サレテ居ルノデゴザイマセウカ

○國務大臣(石橋湛山君) 今チヨット其ノ數字ハ分ラナイノデス

○伯爵眞平昌恭君 ソレデハソレハ止メマシテ、サウ致シマシテ、ソレハ何レ後デ承ルト致シマシテ、其ノ預金ノ關係カラ行キマシテ、ドウ云フ風ニ今後ハ預金ガ増加サレテ行カト云フコトヲ非常ニ心配スルガ、倍、其ノ中ノ一ツトシテハ、食糧事情ノ關係、即チ物資等ノ改善ノコト、即チ米價ノ問題ト物價ノ下落ノコト、物品稅ノコトノ關係カラ考ヘマスルト云フト、米價ノ問題ハ、幸ニシテ今年度ハ申ス迄モナク非常ニ難作ノヤウデゴザイマスカラシテ今年度ハ、今年ノ秋カラ來年度ノ秋迄、是ハ端境期迄ノ間、是ハ幾ラカ安心モスル、併シナガラ石六百圓デゴザイマシタカ、ソレニ依ツテ米價ノ問題モ、色々ノモノモ變ツテ參リマシテ、而シテソレガ衣食住ノ問題ノ根柢ニ成シテ來ル問題ニナツテ來ルノデ

アリマスケレドモ、其ノ米價ノ關係ノ下落ト、ドウ云フ風ニナルカト云フコトニ付テハ、安定モ、是モ出來ナイノデハナイカ、來年、再來年頃ニナルト、是ハ、一體來年度ノ米價ノ關係カラ、ドウ云フ風ニナルカ、是非非常ニ心配ノ問題デアリマス、左様ナ點ニ付テハ、屢々議會デ本會議ノ方デハ安定ノヤウニ仰セラレマスケレドモ、ソレハ一時的ノモノデヤナイカ、之ニ付キマシテ、ドウカ消費ノ關係カラ、一ツ御考ヘ下サイマシテ、何トカモツト續サレテ行ツテ、此ノ上トモ出來マスコトナラバ、是ハ矢張り「クレデット」ノ關係モアリマセウカ何デゴザイマセウカ、南支方面カラノ米、「ビルマ」方面カラノ米モ、ナカ／＼買附ケルコトモ、特別ノ關係カラ許サレナイカモ知レマセヌガ、其處ハ一ツ、何トカ聯合軍トノ御話ヲ御努力願ヒマスレバ、私ハ非常ニ幸ナコトデヤナイカ、併シ又申ス迄モナク、朝鮮ナリ、臺灣ナリ、是ハナクナツタ領土ノ方デスガ、何トカシテ其處デ混テ合ツテ工合良ク行カヤウナ方法ガ出來マセウカ、第二ニ、出來マスコトナラバ、モツト、甚ダ欲張ツタコトデゴザイマスルケレドモ、此ノ上トモ何カ出來マセウカ、米價ノ關係カラ食糧ノ、糧餉粉ト申シマスカ、是ナドニ付テモ、矢張り「クレデット」ノ關係ガ出來ナイト云フコトバカリデゴザイマセウカ、モウ少シ何トカ、「クレデット」デ行カレルモノナラ、然ルベク開拓出來マセウカドウカ、先ヅ此ノ問題ヲ承リタイノデス

ガ、如何デセウカ

○國務大臣(石橋湛山君) 只今御尋ノ自由預金ノ問題デスガ、今此處ニアリマスガ、少シ古イノデアリマスガ、七月ノ末迄シカアリマセヌ、七月、此處デハマダ殖エテ居ルト云フ程ノ狀況ヲ示シテ居リマセヌガ、東京ノ五大銀行ノ分ダケデアリマス、ソレガ五月ノ末ニ二十九億六千萬圓、六月ノ末ニ三十二億六千九百萬圓、七月ノ末ガ三十六億六千七百萬圓、僅カデスケレドモ殖エテ居リマス

○伯爵眞平昌恭君 サウシマス、五、六、七ヲ考ヘマス、此ノ貯蔵ノモノガ全ク他ニ流通サレルモノト、考ヘマスルト、ソレニ加ヘテ今ノ新圓ノ増加率カラ考ヘマスルト、七十億圓ト云フモノガ、其ノ二十九億圓、三十二億六千萬圓、三十六億六千萬圓ト云フモノハ平均ノ何デゴザイマス、七十億ノ新圓ノ増加ニナツテ居リマシタガ、ソレニ矢張り加ヘテサウナルノデスカ、七十億ノ中ニ、其ノ今ノ何ハ、特別ノモノト私ハ考ヘルノデスガ、今ノ新圓、日銀カラ發行サレタノガ七十億ノデスカラ、サウシマスルト、七十億「プラス」二十九億六千萬圓ト云フコトニナリマスルト、相當ノ矢張り「インフレ」ノ關係ヲ持チヤシナイカト思フノデアリマスガ、其處ハドウナンデセウカ

○國務大臣(石橋湛山君) 無論發行紙幣ハ此ノ外デス、詰リ預金ニナラナイ分ガ發行紙幣ニナツテ居リマスカラ……

○伯爵眞平昌恭君 サウスルトソレニ

其ノ數字ヲ加ヘマス、相當ナ「イン
フレ」ト認メテモ宜イヤウニ思ハレル
ノデスガ、如何デセウカ
○國務大臣(石橋山君) ソレハ通貨
ガ出テ居ル、通貨ガ多ク出テ居ルト云
フコトヲ「インフレ」ト言ヘバ、ソレハ
其ノ通りデアリマス、通貨ハ多ク出テ
居リマス

○伯爵奥平昌恭君 サウスルト、矢張
リ其ノ方面カラ申シマスルト云フト、
ドモ「デフレ」ニナルト云フコトニ付
テハ、我々ハチヨツト考ヘラレマセヌ
シ、サリナガラ、此ノ物價ノ變動ト云
フモノニ付キマシテハ、我々ハ一向素
人デ分リマセヌケレドモ、如何デゴザ
イマセウカ、今後ニ於キマシテモ「デ
フレ」ト云フコトハ考ヘラレナイケレ
ドモ、或處迄ハドウシテモ通貨ノ膨脹
ト云フコトハ免レナイト致シマスレ
バ、先ヅ何ト申シマセウカ、財政ノ關
係カラ考ヘマシテモ、又ハ生産ノ關係
カラ言ツテモ、有ラユル方面カラ考ヘ
テ、總括スルト相當ナモノニナル、値
段等モ我々ノ思ツテ居ルヤウニ、サウ
安クハナラナイト云フ意味ノコトモ拜
聴スルノデアリマスガ、其ノ點ニ付
テ、我々國家ノ爲ニ憂慮ニ堪ナイ其處
ガ考ガ違フト、ソレコソエライ「イン
フレ」ニナツテシマフ、ソレニ付テ國
民ハ皆心配シテ居ルノガ實際デス、先
程チヨツト申シタ通り、新聞ガ今後
益々増加スル處ガアルノデ、又新聞ノ封
鎖ガアルノデハナイカト、民間デ非常
ニ心配致シテ居ル、モウ少シ何トカシ
テ「インフレ」ガ少シデモ減退サレコ
トニナレバ、有ラユル方面カラ考ヘ
テ、大變ニ都合ガ宜イト思フノデス、
恩給ニ關スル問題ヤ、ソレカラ此ノヤ
ウナ問題ニ付テモ、大變宜カッタト考

ヘルノデスガ、ソレガサウデナク、昭
和二十一年三月カラ臨時手當ヲ支給ス
ル、六月カラ二十二億七千萬圓ト云フ
臨時手當ヲ出シテ行カケレバナラヌ
ト云フコト自體ニ於テ、既ニモウ相當
ノ「インフレ」モ考ヘラレ、心配モセラ
レマス、サウナルト或方面カラ申ス
ト、益々以テ財政ノ方ガ赤字ニナツテ
行キマス、先頃ノ所得稅等ノ改正法
律案、アレヲ見マシテモ、物品稅ハ
ドン／＼高クサレテ居リマス、サウス
ルト官公吏ノ方ニ付テハ、今後トモ何
トカ考ヘテヤラナケレバナラヌノデヤ
ナイカ、六月カラ二十二億七千萬圓、是
ハ今後トモ臨時手當ヲ出サケレバナ
ラヌ、斯ウ云フ風ニナツテ參リマセ
ウ、マア毎月收入額ヲ五割見當增加シ
テ見タ處デ、今日ノ狀態カラシテ物價
ノ下落ト云フコトハ見込メナイカモ知
レナイ、今ノ食糧關係、通貨ノ問題ニ
付キマシテモ、國民ハ非常ニ不安デア
リマス、官公吏ノ方々モ、ソレ等ノ問
題ニ付テ非常ニ心配シテ居ラレルト私
ハ思フノデアリマス、就キマシテ、官
公吏ノ御方ニ付キマシテモ、現在ノ實
情ハ誠ニ御氣ノ毒デアリマス、人員整
理ノ餘地ノナイコトモゴザイマスミ
ガ、官廳ノ能率ガ今後ドウ云フ風ニナ
ルカ、其ノ能率ガ最高度ニ發揮サレデ
居ルカドウカト云フコトニ付テハ、非
常ニ心配デゴザイマス國家ノ公僕トシ
テ深切ニ察デアルカ、此ノ點ヲドウ云
フ風ニ御考ニナツテ居ラレルカ知レヌ
ケレドモ、今日ノ事態カラ見マシテ
モ、ナカ／＼人員整理ノ問題ニ付テ
ハ、誠ニ困ツタ問題デ、今日ノ新聞ナ
ドニモゴザイマス通り「ゼネスト」ノ
問題モ非常ニ困難ナ問題デアリマス、
官公吏ノ問題ニ付テハ、今後ドウ云フ

風ニスレバ官イカ、非常ニ困難ガ加ハ
リハシナイカト思フ、現ニ私ハ、或役
所ノ方ノ關係カラ實際ノ問題ヲ聞キマ
シテモ、ドモモ意氣分ガアツテ驚イ
タノデアリマス、ソレデ一體大藏省ノ
關係カラ見マシテモ、内務省ノ關係
ハ、恩給ノ點等ニ付テハ大變ニ都合ガ
好イカモ知レヌケレドモ、或ハ司法
省、文部省ト云フ所ニナルト、惠マレ
テ居ナイ、ソレニ二等官ト三等官トデ
ハ、差ガ酷過ギルト云フヤウナコトガ
アリマス、非常ニ問題ニナリハシナ
イカ、此ノ點ニ付テモ、實ハ非常ニ心
配サレル問題デゴザイマス、本俸ニ付
テハ、今後ドウ云フ風ニシテ安定サセ
ルカ、米價ノ問題ガ安定サレルト云フ
コトハ、ナカ／＼ムツカシイ問題デゴ
ザイマセウ、其ノ見通シガ附ク迄ノ間
ハ本俸ノ然ルベキ方法デヤリ、本俸ノ
増加モシ、ソレカラ手當トカ、
○委員長(男爵周布衣道君) 奥平委員
ニ申上ゲマヘガ、只今御質問中デス
ガ、此ノ法案ニ付キマシテ廣イ意味ノ
關係ハゴザイマスケレドモ、尙、他ニ
モ大臣ニ對シテ御質問ガゴザイマス
カラ、成ルベク簡明ニ願ヒマス
○伯爵奥平昌恭君 ソレデハ極ク簡單
ニヤリマス、一ツ／＼ニ致シマセウ、
サウ云フヤウナ譯デ、通貨ノ増減ハ、
速度ニ速度ヲ加ヘル處ガアリハシナイ
カ、尙今後トモ、米並ニ石炭ノ補給
金、又失業救済費トカ、救護費トカ、
復興金融資金トカ、官公吏ノ待遇改善
等ノ増加ガ避ケ難イト見ラレマスガ、
其ノ點ニ付テハ、ドウ御考ヘニナリマ
スカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス
○國務大臣(石橋山君) 御心配ハ御
尤モト思ヒマスガ、實ハ長タラシクナ
ルカモ知レマセヌガ、物價、通貨ノ問

題ヲ申上ゲマス、日本銀行ノ紙幣ハ
昨年ノ七月三十一日、即チ終戦直前ノ
發行高ガ二百八十四億圓、ソレガ終戦
後急激ニ増加致シマシテ、遂ニ本年二
月十八日、即チアノ紙幣交換ノ直前ノ
數字ハ六百十八億圓、ソレガ紙幣交換
ニ依リマシテ激減サシテ、サウシテ其
ノ激減ヲシタ一番下リマシタ所ガ、今
年ノ三月十二日ノ百五十二億圓、一月
ニシテ百五十二億圓ニ減ツタ譯デアリ
マス、ソレカラ増加致シマシテ、是ハ八
月三十一日ノ數字ガ出テ居リマスガ、
五百七十五億圓、九月ニ入り殖エマシ
テ六百億圓ニナツタ、斯ウ云フ増加デ
アリマス、之ヲ指數ニ取ツテ見マス
ト、昨年七月三十一日百二致シマス
ト、今年ノ二月十八日ニ一番殖エタ、
二百十七、詰リ二倍ヲ超エタ譯デアリ
マス、三月十二日ノ減シタ所ハ五十
三、ダカラ殖エタ所カラ見ルト、一舉
ニシテ四分ノ一ニ減ツタ、デアリマ
ス、本年八月三十一日ハ二百二デアリ
マスカラ、本年二月十八日ヨリハ少
低イガ、略々其處ヘ行ツタト、斯ウ云
フヤウナ次第デ紙幣ノ方ハ増減ノ著シ
イ波ヲ打ツテ居ルノデアリマス、之ニ
對シテ、物價ハドウカト申シマス、
日本銀行ノ紙幣物價ニ依リマス、實
ハ紙幣ノ増減ノ影響ヲ受ケテ居ナイノ
デアリマス、昨年ノ七月ヨリ百ニシマス
ト御賣物價、公定價格ニ依ル物價指數
デアリマス、昨年ノ七月ヨリ百ニ致シマ
スト、今年ノ二月ハ百七十七、ソレカ
ラ三月ガ二百九十二、ソレカラ八月ガ
六百八十八、ダカラハ是ハズツト紙幣
昨年ノ七月カラ本年ノ二月迄ノ七箇月
ノ増加ハ百カラ百七十七ニ行ツタカ
ラ、影響ハアツタト申セマスガ、其ノ
後ノ狀況ハ、紙幣ガ減ツテモソレガ現

レズ、唯物價ガ増ス一方、斯ウ云フノデ
アリマス、處ガ、是ハ公定價格デアリ
マス、公定價格ハ御承知ノヤウニ戰時
中スツカリ無理ナ物價デアツタ、ソコ
デ三月以後、殊ニ公定價格ガ急激ノ變
化ヲ致シマシタカラ、八月ガ六百八十
八ト云フ風ニナツタデアリマス、是
ハ本當ノ物價ノ後ヲ追ヒ難ケタノデア
リマス、ソコデ、本當ノ物價ハドウナ
ツテ居ルカ、是ハ現在ノ所デハ、完全
ニ調査ハナイノデアリマスガ、サウシ
テハ一般ニハ發表シテナイ數字デア
リマスガ、東京ニ於ケル實際物價詰リ
關物價デアリマス、ソレヲ、是ハ米カ
ラ麥、隨分相當數ノモノヲ調べテ居ル
ノデスガ、ソレニ依リマス、昨年ノ
九月ヨリ百ニ致シマシテ、ソレカラズツ
ト上リマシテ、本年ノ二月ガ百九十
一、約二倍ニナリマシテ、ソレカラ三
月ガ百七十九、ソコデ二月ノ例ノ金融
緊急措置ノ影響ガ現レマシテ、百九十
一ガ百七十九ニナリマシタ、其ノ後ハ
大體横這ヒデアリマシテ、一々申上ゲ
マス、四月ガ百六十二、ソレカラ後
少シ上リマシテ、五月ガ百七十三、ソ
レカラ六月ガ百八十一、ソレカラ七月
ガ百七十八ソレカラ八月ガ百六十四、
九月ハマダ調査ガゴザイマセヌガ、現
在集ツタ資料ダケハモツト下ツテ居リ
マス、ソレヲ此ノ内容ヲ見マス、大
體多クノモノガ、二月ヨリ一番最高ニシ
テ下ツテ居ルノデアリマス、殊ニ
二月ヨリ最高ニシテ居リマスノガ肉類、
牛肉トカ鳥、豚、雞卵、「バター」ト、
ソレカラ纖維製品、纖維製品ト言ヒマ
シテモ、絹絲ト足袋、手拭シカ調べテ
居ラヌノデアリマスガ、ソレガ二月ガ
最高デアリマス、日用品ハ靴トカ下
駄、石鹼、「マッチ」、電球、真空管ト云

フモノガ、二月が最高デアリマス、木炭、薪ト云フ薪炭類が二月が最高デアリマス、是ハ時期ノ關係ガアリマセウ、處ガ主食ノ米、麥、小麥粉ハ六月が最高デアリマス、六月迄上リマシテ、而シテ七月、八月ト下ツテ居リマス、ソレカラ準主食デアリ甘藷、馬鈴薯ト云フモノハ、是ハ三月が最高デアリマシテ、後ハ大體下ツテ居リマス、ソレカラ野菜類ガ六月が矢張り最高デアリマシテ、七月、八月ト下ツテ居リマス、ソレカラ饅頭トカ、砂糖トカ、醬油トカ調味料ノヤウナ種類ノモノハ、七月が最高ニナツテ、八月カラ下ツテ居ル、ソレカラ酒デストカ、「ビール」、煙草、茶ト云フヤウナモノハ、六月が最高デアツテ後ハ下ツテ居リマス、サウ云フ風デ總體引括メテ申シマス、大體二月ノ百九十一が最高ニシテ、其ノ後ハ四月迄、可ナリ強ク下ツテ居ル、ソレカラ、五、六ト下ツテ高クナリマシタ、又七、八ト下ツテ、九月モ下ツテ居ル、斯ウ云フ大體ノ狀況デアリマス、是ガ現在ノ略々實際ノ、所謂市場ニ現レテ居ル物價ノ傾向デアラウト思ヒマス、ソナナ譯デ、先程申シマシタヤウニ、通貨ノ方カラ申スト非常ニ増加ラシ、更ニソレガ四分ノ一ニモ一時下リ、更ニ又元ニ戻ルト云フ非常ニ増減ラシテ居リマス、實際物價見マスルト、其ノ増減ハ殆ド現レテ居ラヌ、詰リ二月が最高デ、後頭ヲ打チマシテ、サウシテ續道ヒ、極ク最近ニ於テハ、是ハ米ナドノ豐作ト云フ見越シカラデアリマスガ、却ツテ下ツテ居ル、斯ウ云フ狀況デアリマスノデ、今迄ノ所デハ、日本銀行ノ紙幣ハ非常ニ増加ラシテ居リマスガ、最近ノ増加ガ物價ニ直グニ反映シ

テ居ルコトハナイ、從ツテソレデハ紙幣ハ何處ニ行ツテ居ルカト云フト、詰リ市場ニソレガ全部流通シテ居ル譯デハナク、其處ニ一部分ガ退蔵セラレテ居ルノダト斯ウ云フ結論ニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、今ノ所デハ通貨ノ膨脹ダケヲ見テ、直チニ「インフレ」トシテ、無論「インフレ」ノ心配ナイコトハアリマセヌケレドモ、之ヲ唯心配スルト云フヨリハ、詰リ物價ノ安定ト云フ方カラ言ヘバ、世間デ一般ニ六百億ニナツタ、幾ラニナツタト云ツテ心配スル程ノ現象ハ幸ニ起シテ居リマセヌ、ソコデ問題ハ今後デアリマシテ、先程ノ御話ノヤウニ、是ハ今ノ金融機關ニ預金ヲスレバドウトカ何トカト云フヤウナ不安ガアル間ハ出タ通貨ハナカク「戻ツテ參ラヌ」思フデアリマス、デカラ、日本銀行ノ紙幣ト云フモノハ、尙増加スルダラウト思ヒマス、増加スルダラウト思ヒマスケレドモ、ソレデハ増加シタ紙幣ガ何カニナルカト云フト、今一番我々ノ慎重ノハ、食ベ物トカ云フモノヘ紙幣ガ流レ込ンデ、食ベ物ノ値段ヲ上ゲルノデハナイカト云フノガ一番心配デアリマス、ソレニ次イデハ、日用品ガ非常ニ買手が多クテ騰ルノデヤナイカ、斯ウ云フ點デアリマスガ、幸ヒ食ベ物ノ方ハ米ガ現在ノヤウナ有様デアリ、聯合國カラ輸入モ相當見込ミガアルトスレバ、最近ノ狀況カラ見マシテモ、主食ヲ非常ニ買フ爲ニ、通貨ガ其ノ方ヘ流レ込ンデ、其ノ食ベ物ガ暴騰スルト云フ危險ハ略々之ヲ避ケ得ルカト思フノデス、日用品ノ方ハ、物ニモ依リマスガ、或程度ノ生産ヲシテ來テ居ル、是亦、其ノ方ニ消費ノ爲ニ通貨ガ非常ニ使ハレルト云フコトハ先ツナ

イデアラウ、從ツテ農漁村等ニ退蔵サレル通貨ト云フモノハ、實ハ用ヒ様ガナイノデアリマシテ、預金ヲシテ居ル代リニ通貨ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フコトデハ無論ニガ動キ出スコトハ絕對ニナイトモ言ヘナイノデアリマスガ、今ノ見透シデハ、ソレハ動キ出サヌ、モツト多クナリマシテモ、多クナリ過ギタカラ、此ノ際使フコト云フコトハ心配ハナイ、唯一番慎重ノハ、新圓封鎖等ノ風説等ニ依リマシテ、貨幣ヲ持ツテ居テモ危イ、ソコデ今ノ内ニ早ク使ツテシマハナケレバナラナイト云フ空氣ガ若シ醸成サレテ、ソレデ皆ガ使ヒ始メレバ、ソレハドウセ只ニナル貨幣フト云フコトニナリマスカラ、ソコデ私ハ決シテ前途ヲ心配シナイ譯デモアリマセヌケレドモ、又強ヒテ樂觀シテ居ル譯デモゴザイマセヌガ、何ト申シマス、餘其ノ點ヲ強調シテ、新圓ノ封鎖ヲ免レナイコト云フコトハ、總テ夫子ソレ自身ガ新圓封鎖ヲ免レナイヤウナ情勢ニ陷シ込ムノデハナイイカ、私ハ實際最近ノ新聞、其ノ他ノ書イテ居ルトコロヲ見テ、其ノ點ヲ非常ニ危險ニ思ツテ居ル、決シテ是ハ我々ハ宜イト思ツテ居ルノデハナイガ、今ノ場合ハサウ云フ不安ヲ通貨其ノモノニ掛ケテハ大變ダ、今ノ所デハ幸ニ日本ノ銀行預金ニ對シテ不安ヲ持ツテ居ルノデ、通貨ヲ自分デ持ツテ居テ居ル、通貨ニマダ信用ガアルカラ持ツテ居テ來レル、行李ニ入レテモ如何ニ苦勞シナガラモ持ツテ居テ下サルカラ有難イ、其ノ中ニ金融機關ガ整理サレテ、是ナラ大丈夫ダト云フコトヲ事實ニ示シテ、金融機關ニ回收ガ出來ル迄、此ノ狀態ヲ維持シタイト思ツテ居

リマス、此所デシタバタシテ通貨ヲ追ツ取ケタラ大變ニナル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デス、ソレサヘナケレバ、私ハ此ノ收拾ガ出來ル、殊ニ財政ノ問題モアリマスガ、今年度ノ豫算ハ如何ニモ財產稅ヲ大部分食ツテタル、ケレドモ、是ハ唯イキナリ赤字公債ヲ發行スルノトハ、趣キガ違ヒマシテ、私ハ或意味ニ於テハ赤字公債ヲ發行スルノト同ジダト云フコトヲ御説明申上ゲマシタガ、此ノ財政ガ如何ニ危險ナクヲ含ンデ居ルカト云フコトヲ、實ハ内調シタノデアリマスガ、併シ財產稅ヲ徵ルト云フコトハ、其ノ相當部分ハ預金デ入ツテ來ルト思ヒマス、是ハ封鎖アルカラ、其ノ方ノ證書ノ中味ハソレダケ減ルト思ヒマス、ソレカラ有價證券、或ハ物、不動産等デ納付サレル方モ、其ノ有價證券ハ近頃餘リ收益ガナイノデアリマスケレドモ、マア收益財產ガ大部分デアリマシテ、ソレデ收益ガナクナレバソレダケ消費ガ減リマスシ、餘リ收益ガナイモノデアツテモ、兎ニ角自分ノ財產ガソレダケ減ツタト云フコトハ、少クトモ心理的ニ相當影響シテ、ソレ等ノ方々モ矢張り消費ヲ減スト思ヒマス、デスカラ、所得稅ヲイキナリ徵ツテ政府ガ使フ程ノ效果ハナイイカモ知レマセヌガ、兎ニ角財產稅支辨スルト云フコトハ、相當「デフレ」ノ傾向ヲ一面ニ持ツモノト思ツテ居リマス、デアリマスカラ、今年度ノ財產稅ニ依テ、殊ニ此ノ支出ノ場合ニモ、先般本會議デ申上ゲマシタヤウニ非常ニ嚴重ナ査定ヲ行ツテヤルコトニナツテ居リマスシ、旁々私ハ今年度ノ財政ノ事實ニ依ツテ、所謂惡性「イ

ンフレ」ガ起ルト云フコトハ先ツナイ思ツテ居ル、問題ハ來年度ノ豫算デアリマシテ、是ハ其處ニ來ナイ中ニ、來ル迄ノ内ニハ、大體來年度ノ財政ノ見透シモハッキリ著ケナケレバナラナイト思ツテ居ル、其ノ財政モ又大變ナ赤字デアルトスレバ、是ハ心理的ニ相當影響ヲ及スカモ知リマセヌガ、私共モ今考ヘテ居ルヤウニ、來年度ノ財政ガ相當整理サレ、健全ナモノニナルト云フコトヲ世間ニ明カニスレバ、其ノ財政ノ實行以前ニ、心理的ニ相當ニ影響ヲ及ス、斯ウ思フノデアリマス、デスカラ、勝負ハ來年度ノ豫算ノ編成ニアル、現狀ニ於テハ私ハ成程通貨ハ先程カラ申上ゲタヤウナ事情デ、年末迄ニマダ「相當殖エルデアリマセウケレドモ、ソレハソナナニ慎重ナクテ宜イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ、出來ルダケ早く金融機關ニ通貨ガ吸收サレルヤウナ措置ヲ講ジタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○伯爵奧平昌泰君 モウ一ツ伺ヒマス、財產稅ガ假ニ十二月ニナツテ五百億圓ノ徵稅ガ行ハレルトシマシテモ、幾何モナクシテ、只今御話ノ通りニ赤字補填ノ爲ニ大部分又ハ新圓ヲ出サナケレバナラヌコトニナルノデヤナイカト惧レマスコトガ一つ、ソレカラ今一ツハ、只今ノコトデ大體分リマシタガ、國民カラ觀マシテモ、擬制資本ノ問題、之ニ付テハ五大銀行ナドニ付テハドウナツテ居ルカ、其處ヲ非常ニ心配スル、成ルベク早イ機會ニ、第二封鎖ノ問題ヲ開放シテ貰イタイガ、銀行ノ方ニ其ノ整理ガ出來ルノカドウカ、其ノ前途ニ對スル見透シハドウカ、是ハ上層階級バカリデナク、下層階級ノ者、勞働階級ノ者迄モ何トカ此ノ第二

封鎖ノ問題ヲ然ルベク早ク解放シテ貰ヘナイカ、是ハ勝手ナ言ヒ分ドラウトハ思ヒマスケレドモ、皆國民ガサウ云フ方面ニ付テノ不安ヲ持チ、希望ヲ持ツテ居ルノデスガ、此ノ問題ニ對シテ然ルベキ時期ニ於テ、國民ニ對シテ安心サセル方法ハ立タヌモノカト云フコトニ付テノ御意見ゴザイマセウカ、如何デセウ

○國務大臣(石橋湛山君) 第二封鎖ヲ成ルベク早イ機會ニ解クト云フコトハ、是ハ只今申上ゲマシタ矢張り成ルベク早ク金融機關ヲ心配ノナイモノニシテ、預金ヲ吸收シタイト云フ方策カラ申シマシテモ、出來ルだけ早く之ヲ解カナケレバイケナイ、デアリマスカラ、色々ノ關係係少シク豫定ヨリモ選レテ遺憾千萬ニ私共考ヘテ居ルノデアリマスガ、適イ中ニ法案ヲ御審議願ヒマシテ、サウシテ整理ニ掛リマシタラ、手取早ク第二封鎖ハ解キタイ、是モ唯大キナ五大銀行ナドニナリマス、貸出、其ノ他ガ複雑デスカラ、稍々延ビルカモ知レマセウケレドモ、地方銀行ノ如キ餘リ影響ノナイヤウナモノハ、モウ即座ニモ第二封鎖ヲ解ク、斯ウ云フ積リデアル、ソレカラ勘定ガスツカリ分リマセヌデモ、大體是位ハモウ大丈夫ト見レバ、第一封鎖ノ中カラ何割デモ第二封鎖ノ方ヘ移ス、斯ウ云フ手順ヲ致シテ居リマス

○慶松勝左衛門君 議事進行ニ付テ一言致シマス、比々會議ハ「法人に對する政府の財政援助の制限に關する法律案」の審議をして居るやうに心得ますが、餘リニ廣範圍ナ豫算委員會デアルヤウナ質問ヲシテ居タラ切リガナイト思ヒマスガ、如何デセウカ、議事進行上此ノ委員會ノ最モヤラナケレバナ

ラヌ法律案ヲ先ニ、直接關係ノアル所ダケニ質問ヲシテ、御進行ヲ願ヘルト云フ譯ニハ参リマセヌカ

○委員長(男爵周布泰通君) 御尤モデゴザイマス、奥平伯爵ハ豫テ御通告ガゴザイマシタ、ソレデ時間ノ點ニ於テ、實ハ簡明ニ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲマシタ

○慶松勝左衛門君 私ノ希望ガ少數デアレバ已ムヲ得マセヌ、ケレドモ、私ノ希望ニ賛成者ガ多ケレバ、ドウカ御遠慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○伯爵奥平昌恭君 簡單デス

○慶松勝左衛門君 簡單デハナイノデスヨ

○伯爵奥平昌恭君 左様デスカ、今ノ恩給ノ問題ニ付テ、先程申シマシタ點ニ付テ御答辯ヲ願ヘルバ、ソレデ宜シイノデス、恩給ハ本俸ヤ手當、其ノ他ノ問題ト實際關係ノアル問題デスカラ

○國務大臣(石橋湛山君) 先程御答辯ヲ落シマシテ相濟ミマセデシタ、俸給等ノ問題ハ、七月カラ大改正ヲ致スコトニナリマシタ、之ニ依ツテ、官廳ノ職員ノ俸給ハ大體満足スベキ狀態ニ達シテ居ルノデヤナイカ、ソレカラ先程申上ゲマシタヤウニ、幸ニ物價ガ今後安定ヲスル、若シハ多少ナリ下ルト云フコトデアレバ、是ハ御心配ノヤウニ今後著シク職員ノ給與ヲ變ヘナケレバナラスト云フコトハ起ラナイ、是ガ又非常ニ起ルヤウデアレバ困ルト思ツテ居リマシテ、成ルベクサウ云フコトノナイヤウニ致シタイト思ツテ居リマス、恩給ノ點ハ色々問題ガアリマスカラ、尙、色々承ツテ置キマシテ今後研究致シマス

○伯爵奥平昌恭君 能ク分リマシタ、私ノ聽カムトスルコトハ言ヒマシタ

カラ、私ノ言フコトハゴザイマセヌ

○委員長(男爵周布泰通君) 然ラバ、御通告ノアリマシタ永井委員ニ御質問ヲ願ヒマス

○永井松三君 只今同僚議員ノ言ハレタヤウニ、直接ニ本法案審査ニ關係ノアルコトニ局限ヲ致シテ、二當局大臣ノ御説明ヲ伺ヒタイノデアリマス、一昨日ノ委員會ニ於キマシテ、大體本案提出ノ理由、又内容ニ付テノコトモ判明致シマシタガ、尙大臣ノ御出席ヲ得デシタノデ、一、二御尋ネ致シタイノハ、此ノ理由書ニ「聯合國最高司令官ノ要求」ト云フコトガ謳ツテアルノデアリマスガ、是ハ他ノ法律案等ニハ餘リ見受けナイ驚キ方デアル、茲ニ於テカ、私ノ注意ガソレニ向ツタノデアリマス、此ノ司令官ノ要求ト云フモハハ其ノ儘茲ニ一條、二條、三條ニ現レテ來テ居ルノカ、ソレトモ司令官ガ或要求ヲシテ、其ノ要求ヲ敷衍ナリ、或ハ節約ナリシテ、政府當局ニ於テ然ルベキト御思ヒニナリマシテ、成文ノ形ニナツテ、此處ニ出テ來テ居ルノカト云フコトガ御尋ネ致シタイト思フノデアリマス、若シ初メノヤウデシタラ、審查ノ餘地ガナクテ、此ノ儘鵜呑ミニシナケレバナラス、又第二ノヤウナ風デアリマシタナラバ、本案ノ審查ニ當ツテ、意見モ加ヘテ修正ヲ提示スルト云フコトニナルノデアリマスガ、司令官ノ要求ト云フコトハ、今申上ゲマシタヤウナドチラニナツテ居リマス

○政府委員(石原周夫君) 今ノ御質問ニ對シマシテ、便宜私ヨリ御答ヘ申上ゲマス、聯合國最高司令官カラ參ツテ居リマス指令ハ、此處ニ今御審議ヲ願ツテ居リマス文章ノ直接其ノ儘デハゴザイマセヌ、併シナガラ、其ノ狙ツテ居リマス趣旨ニ於キマシテハ、殆ド同様デゴザイマス、御尋ノ點ノ論據トシテ居リマス色々法律ノ中デ、斯ウ云フヤウナ言ヒ廻シテ理由書ニ書イテ居ルモノガゴザイマス、是ハ御承知ノヤウニ聯合國最高司令官ノ指令ニ基キマシテ、「ボツダム」勅令申シマスガ、宣言受諾ニ伴ヒマシテ出シマス勅令ガアルノデアリマス、是ハ先般主計局長カラ申シマシタヤウニ四月ニ指令ガ出テ居リマス、其ノ間ニ若干期間ガアツタ、御承知ノヤウニ政府ノ社債ノ保證等ノ問題ニ付キマシテハ、現在アリマスコト關聯シマシテ、其ノ間ノ睨ミ合セヲ致シタリシマシタ關係上、議會ノ審議ニ間ニ合ヒマシテ、寧ロ「ボツダム」勅令デ參リマスヨリ、議會ハ法律トシテ出シテ御審議ヲ願ツタ方宜イト老ヘマシタノデ、其ノ間ニ時期ガ相當アリマシタノデ、御尋ネノヤウナ御不審ガ起ル點ガアルト思ヒマス、其ノ間ニサウ云ツタ事情ガアリマシタノデ、少シ普通ノ法案トハ違フノデアリマス、斯ウ云フ形デ御審議願ヒマシタ次第デアリマス

○國務大臣(石橋湛山君) 是ハ一昨日主計局長カラ、此ノ文章ヲ讀ミ上ゲテ申上ゲタサウデアリマス、茲ニ尙念ノ爲ニ申上ゲマスガ、此ノ一部分ヲ讀ミマスト、「帝國政府及地方公共團體ハ今後會社其ノ他ノ法人ノ債務ニ付其ノ性質ノ如何ヲ問ハズ債務保證ヲ爲スコトヲ得ズ」、ソレカラ一會社其ノ他ノ法人及團體ニ對スル政府ノ財政的援助ハ今後ハ補助ノ形式ニ依ルベシト云フヤウナコトガアリマス、ソレカラ一會社其ノ他ノ法人ノ配當ノ支拂ヲ可能ナラシムル目的ノ爲ニ補償ヲ爲スコトヲ

得ズ、拾ヒ讀ミシマス、サウ云フコトガアリマス

○永井松三君 只今、大臣カラノ御説明デ大變ハツキリ致シマシタガ、一昨日補助金ノ話ヲ伺ヒマシタガ、尙疑義ガアリマシテ、ハツキリシタイト思ヒマス、今ノ第三條ニハ但書ガアリマス、第一條第二條ニ但書ガナクテ、全面的デアリマスガ、サウ致シマス或ハ是ガ、司令官ノ命令其ノ儘ズツト書イタノカ、第一條第二條ニモ、或ハ第三條ノ但書ヲ作ル場合ガアルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、其ノ點ハ如何デアリマスカ、處デ、司令官ガ斯カル要求トカ指示ト云フヤウナコトヲシテ來タ、ドウ云フ理由ダト云フコトハ分ルノデアリマスガ、其ノ理由如何ニ依ツテハ、本委員會ノ審查並ニ修正案ノ提示ニ影響シテ來ルノデアリマス、是ハ司令官ノ方ノ心事デアリマスカラ、村度スル餘地ガナイノデアリマス、當局ヘ、ドウ云フ理由指示乃至要求ヲシテ來タノデアリマス

○國務大臣(石橋湛山君) 其ノ點ハ、別段文書デ理由書ハ附イテ居ラナイヤウデアリマスガ出シマシタ時ニ、向フノ理由トシテ傳達サレマシタコトハ、此ノ法案ニ掲ゲテアリマスヤウニ、第一ハ財政ノ問題デアリマス、是ハ此ノ問題バカリデナク、類ニ色々ナコトデ日本ノ財政ノ膨脹ヲ懸レテ、負擔ヲ輕クシヨウ、是ガ一ツ、ソレト並シデ、或ハ附隨シテ、一體政府ガ斯ウ云フ補助ヲ無暗ニ出スト云フコトハ、企業ノ民主化、或ハ自主性ヲ養ハシメル、斯ウ云フコトガ理由ニナツテ居リマス

○慶松勝左衛門君 私ハ餘リ詳シイコトハ分ラヌノデスガ、此處ノ理由ノ所ニ、「聯合國最高司令官ノ要求に基

き

て「ト云フコトが唯一ノ理由ニナツテ
居リマスガ、今ノ大臣ノ御説明ノ、或
ハ財政ノ緊縮ヲ必要トスルガ故ニト云
フヤウナ工合ニシテ、最高司令官ノ要
求ト云フコトヲ冒頭ニ掲ゲルト云フノ
ハ少シ理由トシテ如何カと思フノデス
ガ、ソレハ差支ナイモノナンドセウ
カ、外デモ、サウ云フ色々ナ要求ハア
ツタラシイデスガ、表面ニ斯ウ云フ要
求ヲ書カズニ、向フガ言ウテ来テ理由
ガ我が政府ガ納得スレバ、ソレハ政府
ノ理由トシテ御書キニナルノガ正當デ
ヤナイノデスカ、其ノ點ハ如何デセウ
○國務大臣(石橋湛山君) 甚ダ御尤モ
ト實ハ思ヒマス、私説明書ノ方ニハ逆
ニシテ置イタルデアリマスガ、唯此ノ
中ノコトガ全部ソレニ當ルモノデスカ
ラ、其ノ點ヲハツキリシタ方ガ宜イト
云フヤウナ考デ法制的ニス様ナモノ
書イタル云フ次第デアリマス
○慶松勝左衛門君 能ク御事情ハ分ル
ノデスカ、公然印刷シテ理由トスル所
ニ、「聯合國最高司令官ノ要求」ト云フ
コトヲ書カズニ、今ノ御言葉ノ財政ノ
緊縮トカ、何トカ云フヤウナ工合ニ、
御訂正ニナラヌモノナノデセウカ、慣
例上、ドウモ餘リ面白クナイヤウニ思
フノデスカ
○國務大臣(石橋湛山君) 今ノ點ハチ
ヨット研究ヲ要スルノデアリマスガ、
確カニ御尤モデゴザイマスガ、實ハ衆
議院トノ關係ガドウナリマスガ、今法
制局ノ專門家ガ居ラヌモノデスカラ分
リマセスガ、此ノ理由書ヲ、若シ萬一
御修正下スツタ場合ニ、衆議院ト所謂
兩院協議會トカ云フモノニ掛ケルカ、
掛カラヌカ、チヨット分リ兼ねマス
○永井松三君 實ハ今、慶松委員ノ御
質問ト同ジ點ヲ外ノ方カラ私ハ考ヘテ

居リマシテ、ドウモ斯ウ云フコトヲ御
書キニナルノガカシイト思ヒマシタ
ガ、御書キニナル以上ハ、モウ否極ナ
シニ之ヲ聽カナクチヤナラナイト云フ
コトノ意味ニ御書キニナツタノカト思
ヒマスガ、サウデモナイ大體ノ原則
旨ガ通レバ宜イト云フ風ナコトニナツ
テ居ツテ、而モ司令官ノ方カラノ傳
達、ソレカラ又政府當局トシテ其ノ
傳達ヲ御了解ニナル上ニ於テ、政府ノ
財政ノ關係ノ不安定ヲ成ルベク除クヤ
ウニシタイト云フヤウナ御趣旨ト云フ
ノガ、一ツノ理由ニナツテ居リマス、
其ノ外ニ私自身ノ考ヘル所デハ、此ノ
戰爭關係ノ爲トカ、或ハ日本ノ國外發
展ト云フヤウナ意味ニ於テノ事業ノ援
助ト云フヤウナ風ノコトハ、今日ノ情
勢上、當然打切ツテ行カナクテハナラ
ヌモノデアリマスカラシテ、ソナヤ
ウナ風ノコトヲ御考ニナツタノカシラ
ント云フヤウナコトデ、理由ガ能ク分
ラナクタルノデスカ、政府財政ノ不安
定ヲ成ルベク除クヤウニト云フ御理由
ガ主タルモノデアルト云フヤウナコト
ニナツテ来マスルト、三條デケハドウ
シテ例外規定ガ附イテ、一條ト、二條
ニハソレガナクテ、全面的ニナツテ居
ルノデスカ
○政府委員(石原周夫君) 私、今ノ御
尋ニ直接御答ヘ申上ゲマス、ソレハ指
令ニ、サウ云フ但書ノ餘地ヲ取ツテアル
カラデアリマス、ソレ以外一條、二條
ニ該當シマス指令ノ文書ニハ、サウ云
フヤウナ餘裕ハ存シチナイノデアリマ
ス、ソレカラ理由書ノ點デゴザイマス
ガ、マア財政援助ノ制限ト云フヤウナ
點ニ付キマシテハ、廣イ意味デ財政援
助ト申シマスルト、此處ニ掲ゲテ居リ
マスモノ以外ニモ、色々ノ問題ガアル

ノデアリマスルガ、其ノ中、向フノ指
令デ持ツテ參リマシタモノダケヲ取上
ゲマシテ、本來ナラバ、議會ノ會期中
デゴザイマセヌケレバ、從來ノ「ボツ
ダム」勅令デ參リマス、ソレヲ其ノ儘
此方ヘ持ツテ參ツタ關係ガアルノデ、
理由書ハ些力正直ニ其點ヲ表現ヲ致
シタ譯デアリマス、御承知ノヤウニ、
議會ノ開會中ニハ、當然「ボツダム」勅
令カラ出シマセヌ、ソレデ議會ニ斯ウ
云フ形デ出シタ、サウ云フ變則ナ經緯
ヲ持チマシタモノデアリマスノデ、斯
ウ云ツタ變則ナ表現ヲシタト云フコト
ニ御了解願ヒタイト思ヒマス
○永井松三君 尙此ノ點ニ引續イテ伺
ヒマスガ、會社其ノ他ノ法人ノ事業目
的ニ依ツテハ、政府ノ是ハ見込デアリ
マスガ、必ズシモ財政ノ不安定ヲ招ク
モノトハ見ラレヌモノデアリデアリマ
セウシ、若シ又不安定ヲ生ズルヤウナ
場合デモ其ノ額ガ餘リ大キクナクテ、
而モ他方ニ於テ、其ノ事業目的ガ日本
ノ經濟再建ナリ、モウ少シ言葉ヲ廣ク
言ヘバ、「ボツダム」宣言ノ遂行ヲ援
テ行クト云フヤウナ事業ガアルト私ハ
思フノデアリマス、サウ云フモノニ對
シテハ、此ノ第一條ナリ第二條ノヤウ
ナ財政補助ト云フコトヲシテモ差支ナ
イノデヤナイカト考ヘマスガ、此ノ點
ニ付テ全面的ニナツテ居ルノデスカ、
其處ニ何カ理由ガアルノデスカ
○國務大臣(石橋湛山君) 實ハ此ノ
「デイレクティブ」ナルモノハ四月三日ニ
出テ居ル、私實際ノ個ニ當ツテ居リマ
セヌカラ、其ノ經緯ガドウ云フヤウナ
交渉デ、斯ウ云フ風ニナツタカ分リマ
セヌガ、斯ウ云フヤウナモノガ出マス
場合ニハ、私ノ經驗デハ行キナリス様
ナモノガ出テ来ルコトハ少クテ、十分

押シ問答ヲシタ結果デハナイカト思フ
ノデアリマス、デアリマスカラ、マア
御尋ノヤウナコトハ、議論トシテハサ
レタノダケレドモ、結局向フデ「デ
イレクティブ」デ出シテ来タルデヤナイカ
ト想像致シマス、マア政府委員カラモ
申シマシタヤウニ、左様ナコトカラ、
此ノ理由書ハ「デイレクティブ」デ、唯向
フノ斯ウ云フ希望トカ何トカ云フモノ
ヲ法律案ニシタノデハナクシテ、命令
デ来タルノデスカラ、命令ダト云フコ
トヲ此處ニ明白ニシタト云フヤウナ譯
デゴザイマス
○委員長(男爵周布兼道君) 他ニ御質
問ハゴザイマセヌカ
○男爵毛利元良君 第一條及第二條
ノ規定ニ依リマス、會社ニ對スル助成
金ヲ打切ルト云フ御話デアリマスガ、
例ニハ私設鐵道ノヤウナ公益性ノアル
モノ、一ツノ企業デアルト同時ニ、公
益性ノアル私設鐵道ノ如キモノハ、相
當援助シテ貰ヘナケレバ經營ガ立ツテ
行カナイ、又其ノ事業ガ交通運輸上カ
ラ相當必要ナモノデアルト云フヤウナ
場合ニモ補助ガ出セナクナル譯デス
ガ、サウナリマス、其ノ鐵道ト云フ
モノハ、經營ガ出来ナイ、非常ニ産業
上、或ハ旅客ノ交通上、重大ナ支障ヲ
來スト云フ場合ニ、此ノ規定ニ依ツテ
補助ハ打切ルガ、斯ウ云フ鐵道ハ今後
別ナ方面カラ國ガ買收シテ經營スルト
云フ風ナコトモ考ヘラレマスガ、鐵道ノ
問題ハ一ツノ例デアリマシテ、マデ色々
ナ重要ナ生産以外ニ、何ト言ヒマスガ、
或一ツノ部分的ナモノデモソレガナケ
レバ重要ナ生産ガ出来ナイト云フヤウ
ナモノモアルカモ知レマセヌ、サウ云
フモノニ對シテ補助ガ無クナリ、生産
ガ出来ナイ場合ニハ、全體的ニ幾ラカ

ノ影響ヲ與ヘルト云フ場合モアルト思
ヒマス、サウ云フ場合ニ付テハドウ云
フ御處置ヲ御執リニナリマセウカ
○國務大臣(石橋湛山君) 此ノ法律ハ
政府ノ特殊ニ對スル配當ナドヲ、外ノ
株式ト差ヲ設ケテ配當ヲ少クスルト
カ、何トカト云フコトハ出来ナイ、ソ
レカラ配當等ガ一定ノ配當ニ達スル爲
ニ補助金ヲ出スト云フコトガ出来ナイ
ト云フコトデアリマシテ、鐵道ナドノ
ヤウニ、補助金ヲ出スコトハ出来ル、
鐵道ナドハ、此ノ法律ニアルヤウナ形
ノ補助ハ今迄ハシテ居ラナイノデアリ
マシテ、此ノ指令ノ四項ニ「會社法人
及其ノ他ノ團體ニ對スル政府ノ財政的
援助ハ補助ノ形式ニ依ルヘシ」ト云フ
ノデアリマシテ、補助ハ出来ルノデス
カラ、御質問ノ點ハ、差支ハ起ラナイ
ダラウト存ズルノデアリマス
○委員長(男爵周布兼道君) 他ニ御質
問ハゴザイマセヌカ、御質問ハモウ終
了ノヤウニ御見受け致シマスガ、果シ
テ左様デゴザイマスレバ、採決ニ移リ
タイト思ヒマス、併シ茲ニ一點、御協
議ヲ申上ゲタイノデアリマスガ、先程
慶松委員、永井委員カラ御質問ガゴザ
イマシタ本案ノ理由書ニ對シマシテノ
點デゴザイマスガ、之ヲ先ツ以テ御諮
リヲ致シマセヌト、此ノ採決ニハ入レ
ナイト思ヒマス、是ハ政府ノ只今御
答辯ノゴザイマシタ所カラ見マシテ、
此ノ儘ニ通シテ參ルト云フノト、或ハ
之ヲ先程御質問ノヤウニ變更致スト云
フコトニ分レテ參リマス、御協議ヲ致
シタイト思ヒマス
○慶松勝左衛門君 強ヒテ私ハ、此ノ
「聯合國最高司令官ノ要求」ト云フコト
ヲ消シタ方ガ宜イト云フコトヲ堅ク主
張スル者デハアリマセヌガ、是ハ私ハ

一ツノ慣例ニナルト思ヒマス、最高司令官ノ居ル間ハ慣例ニナリマシテ、モウ解解、理由ノ善惡ヲ問ハズ、斯様ナ理由ニ依ツテ日本ノ法律ガ改正サレルモノナラ、私ハ一ツノ惡例デヤナイカト思ヒマス、デスカ最高司令官ノ要求デモ、政府ガ何レヲ御願キニナツテ、尤モダト御得心ニナツテ、サウシテ、其ノ最高司令官ニ理由ヲ附シテ御返シニナルト云フコトハ、私ハ宜イ慣例デヤナイカ、サウシナイト、斯ウ云フコトガ書イテアルト云フコトハ、又最高司令官ノ方ガ、是ハ簡單ナ法律デアリマスケレドモ、見マシテ、ドウ感ジマスカ、又日本政府ノ威嚴ノ上カラモドウデスカ、サウ云フ點デ大臣ナドガ是デ蓋支ナイト云フノデシタラ、ソレヲ強ヒテ、ドウセイト云フコトヲ私ハ申スノデアリマセヌ、道理ノ基ク所ヲ一ツ考ヘテ戴キタイ

○國務大臣(石橋湛山君) 其ノ點ニ付テチヨット申上ゲタイノデアリマスガ、實ハ最近ハ餘リ「デイレクテイウ」デナク、話合デ以テ、色々ノコトヲ豫メ協議シテ、ソレカラ日本政府ノ法律案トシテ出スト云フ形ヲ成ルベク執ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ場合ニハ、無論十分協議ヲ致シマシテ、雙方納得ノ上デヤルノデアリマスカラ、其ノ結果ノ如何ニ拘ネズ、日本政府ノ全責任ヲ以テヤルト云フコトニナリマス、是ハ唯「デイレクテイウ」デアリマスカラデスカ、「デイレクテイウ」ノ場合ニハ、必ズ斯ウ書カナケレバナラヌト云フコトハアリマセヌガ、「デイレクテイウ」デ來タモノハ、寧ろ聯合國最高司令官ト云フコトヲ強ク謳ツテ置クノモ宜イノデヤナイカ、或ハ其ノ方ガ正シイノカモ知レマセヌ、サウ云フ風

ニ考ヘマスノデ、私ノ氣持トシテハ、相成ルベクハ一ツ理由書モ、此ノ權御承認ヲ願ヒタイノデアリマス
○慶松勝左衛門君 我ハ餘リ賛成シマセスケレドモ、併シ別ニ之ニ付テ、私ノ主張ハ敢テ致シマセヌ
○大木操君 チヨットソレニ付テ私モ意見ヲ申シマス、理由書ノ方ハ、是ハ議決ノ對象ニナラナイ問題ト思ヒマス、勿論法律案ノ法文デデアリマスガ、今質問者ノ御主張ハ、是モ極メテ同感ナノデ大蔵大臣ノ矢張り御説明モアリマシタケレドモ、御同感ノ意ヲ表サレテ居ラレタヤウデアリマス、矢張り是ハ政府全體ノ自主的ノ立場ニ於テ、理由書モ今後ハ御書キ下サルト云フ了解ノ下ニ、是ハ「デイレクテイウ」デカラト云フコトデ、直グ手ヲ著ケルト云フコトデナシニ、サウ云フ御含ミヲ以テ、將來御計ラヒ下サタラ如何カト、斯ウ思ヒマス

○委員長(男爵周布兼道君) 然ラバ、政府提出ノ原案ニ付キマシテ、討論、採決ニ移リタイト思ヒマス、御發言ノ方ハ、此ノ際御願ヒシマス……別ニ御發言モナイヤウニ見受ケマス、然ラバ採決ニ移リマス、法人に對する政府ノ財政援助ノ制限に關する法律案、之ヲ可決スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○委員長(男爵周布兼道君) ソレデハ全會一致ト認メマス、本案ハ可決サレマシタ、是デ散會致シマス
午後二時四十七分散會
出席者左ノ如シ
委員長 男爵周布 兼道君
副委員長 子爵梅溪 通虎君
委員 侯爵廣幡 忠隆君

國務大臣	大蔵大臣	石橋 湛山君
政府委員	大蔵政務次官	上塚 司君
	大蔵事務官	野田 卯一君
	同	石原 周夫君
男爵山洋三郎君	男爵毛利 元良君	大木 操君
男爵松平 昌恭君	子爵牧野 忠永君	永井 松三君
慶松勝左衛門君	寺尾 博君	